

令和7年度 こども園（保育園）関係者評価
園評価・評価委員最終評価シート

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価
評価日時： 令和 8年 2月 20日 14:30~15:30

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

やってみよう！ わくわくがいっぱい 発見がいっぱい
～つながる遊び 深まる友だちの輪～

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した

こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

大きい子ども小さい子ども共に活動していく中で、友だちと遊ぶ楽しさや、思いを伝え合い協力して成し遂げる達成感を感じながら、様々な経験を楽しみます。子どもたちが興味や不思議に思ったことや発見した喜びを伝え合い、友だちと一緒に考えたり、工夫したりしながら遊びを継続し、「もっとやってみよう」と子どもたちが主体となって遊びを楽しみ友だちとの繋がりを深めていきます。保育教諭は子どもたちの興味や不思議に感じている姿を捉え、知的好奇心を大切に子どもたち主体で遊びを展開できるように、環境を整え活動の計画をしていきます。また、活動を通して子どもたちの姿ややってみようと思う気持ちを捉え、遊びが繋がって友だちとの関わりが深まるよう環境の再構築や提供の工夫をしていきます。子どもたちの心が踊りわくわくしたり発見したりしながら、毎日が楽しいと感じられる教育保育の展開を目指します。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価		評価委員最終評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由（評価委員から）
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザインや重点目標は、年度初めに周知し、意識して計画や活動を行う事ができた。園内研修や会議等で行った事で意識が高まった。 ・重点目標に向けて職員が個々に課題を立て、各月ごとに振り返りシートを活用し、実践と振り返りをして教育・保育へと活かすことができた。 ・グランドデザインや重点目標について保護者へオリエンテーション等で伝えている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時から毎年園の特色やグランドデザインを伝えていくため、保護者理解に繋がってよい。 ・年度始めのオリエンテーションにて必ず保護者へ説明がある為、伝わっている。 ・職員が振り返りシートを記入し活用する事により、振り返りと次の目標を立て、ねらいをもって教育・保育が出来ている為、良い仕組みが出来ている。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	4	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画や週計画を立て、反省や振り返りを行い、次月のねらいや活動に活かしている。立案した内容を職員間で共有し、それに伴う環境づくりや準備等を実践することができた。 ・一人ひとりの成長発達に合った個別のねらいや子どもの発達、興味を捉えた日々の教育・保育や園内の興味関心に寄り添った活動や行事の計画を行い実践をしている。 ・季節にあった園内装飾や製作物、手作りの玩具の充実や子どもの発達に合った玩具を整えている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画や週計画など反省や振り返りをしっかり行っている。 ・子どもの興味にあった活動や様々な行事などがあり、家庭ではできない体験や経験ができていく。 ・園内の装飾や掲示等、季節感を感じ、整えられている。
III. 子どもにとっては 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れ心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングやカンファレンスの話し合いの中で子どもの様子や姿や、活動への準備やアイデアの共有ができていく。 ・異年齢保育やコーナー遊びの中で、子どもたちが遊びを選んでじっくりと遊び込む姿があり、一人ひとりのありのままの姿、自分らしく安心して好きな遊びを十分にできる環境がある。 ・自然の中に出掛けたり異年齢で関わったり、四季の自然を全身で感じて過ごしたり子どもたちが園生活を楽しくしている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が子どもの様子や活動を共有していい。 ・異年齢保育が園の特色となっていて、小さい子は大きい子への憧れの気持ちを持ち、「やってみよう」という意欲や子どもたちの成長が感じられる。 ・子どもが「とももりに行きたい」と園が好きで楽しんで帰ってくるのが嬉しい。
IV. ファミリーにとっては 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と登園時や送迎時に気軽に相談したり、園での様子を伝えたりし合えるよう、保護者対応を丁寧に心掛けている。 ・保護者が参加できる行事があり、親も子どもも喜んで参加する姿があった。 ・写真掲示やブログ、おたよりで園の様子を配信している。 ・園内掲示や、展示食等の食育コーナーが充実し、園のメニューのレシピを持ち帰ることが出来て、送迎時の親子のコミュニケーションのきっかけとなっている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が子どもの様子について丁寧に声を掛けてくれて嬉しい。 ・掲示物や活動の様子の写真がたくさんあり、園での様子がよく伝わる。 ・以前の様に手紙は紙面で送らせた方が忘れにくいと感じる事もあるが、学校でも配信中心である為、見逃さないようにしたい。
V. 地域にとっては 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように	4	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のマラソンや散歩等で地域の方との挨拶をしたり、地区の敬老会等に参加するなどして地域と関わる機会を大切にしている。また、地域の方も温かく見守ってくれている。 ・支援センターでは様々なイベントや講座がある。部屋から園庭の姿が見れて園の様子が分かり、利用者と子どもたちが自然に関わり、あたためた雰囲気がある。 ・日頃の様子はブログや園内掲示などで確認することができる。誰でも気軽に来園できる雰囲気づくりをしている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・公会堂の横に園があることで地域が明るくなり嬉しく感じている。 ・敬老会等で、地域と園児と交流ができていく為、今後も継続していきたい。 ・園内掲示が充実して支援センターの方も園内の様子がよくわかり良いと思う。 ・ブログの投稿時期や掲示物の作成などについてアンケートの中で配信が嬉しいというご意見があったが、子どもや教育・保育の方が大切と感じる為、気にならない。
VI. スタッフにとっては 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・園の中で同じ目標に向かって働く仲間として言葉で思いを伝え合える関係がある。 ・畑や手芸やピアノ等、個性や得意分野が生かされている。 ・子どもの様子や環境について報告を意識してチームみんなで同じ方向へ進められるようにしている。 ・親身しやすい職場環境があり、保育者が互いのいいところ（声掛けや行動）を真似し合い、共に学び高め合う関係が成立している。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えて取り組める環境があることは、働きやすいのではないかと感じる。 ・畑や手芸等、職員の個性や得意分野を生かされているのがとても良い。 ・職員が楽しんで教育・保育している事が伝わっている。 ・職員の雰囲気が良いと思う。